

Suzanne



スザンヌ

1986年10月28日 熊本市(旧植木町)生まれ
「クイズヘキサゴンII」、「サンデーネクスト」などに出演し、
同じ九州福岡でも「豆ごはん」にレギュラー出演
2008年11月「熊本県宣伝部長」に就任した

おもてなしに必要なのは
「知る」こと。そして「笑顔」

「んだ」と思わ
れることが多
い。例えば、

熊本県宣伝部長のスザンヌさんに、「熊本大好き」と公言する
極意を語ってもらいました

熊本はたくさん良いところがあり
ます。その中でも、やっぱり「水」

が一番の熊本の魅力ですね。水がおい
しいから、野菜もみずみず
しいものができる。水道か
らミネラルウォーターが出

**熊本の魅力は、やっぱり
おいしい「水」**

るなんて言いますけど、東京では考え
られません。向こうでは、水道水をそ

のまま飲むなんてできない。熊本を離
れて、水が変わったことで肌がすごく
荒れたんです。「水にお金を出すの？」
と不思議な感覚でしたが、外に出て改

めて熊本の水はきれいなんだって思
いました。

熊本は自然が豊かで、山も川もあつ

て、少し行
けば海もあ

ります。気

軽に温泉にも行くことができ、とて
もいいですよ。

熊本の人にとって当たり前だと
思っていたことが、他県の人か
らすると、「熊本はそんなことがある

タレエマシ

太平燕はあんなに美味しいのに熊本に
しかない。桜納豆を知り合いが食べて
「馬肉と納豆？」と驚いていたけど、「ス
タミナがつくね」とご飯をおかわりし
て食べていました。国産畳もほとんど
が熊本で作られていることを知らない
人が多いし、みかんだって、1種類し
かないと思っている人がたくさん。で
も、熊本には、デコボンや晩白柚だつ
てある。熊本を出て、宣伝部長になつ
て格段に、熊本のことを知ることがで
きたし、詳しくなりました。この「知
る」ことが一番大事なのかなと思いま
す。まずそこに行つて、自分の目で確
かめる。そして、自分で驚いたことや
感じたことを人に話して「行つてみた
い」と思わせたいですね。

九州新幹線が開通して、県外の人が
たくさん熊本に来ると思いますが、笑
顔で迎えてほしいですね。私はどんな
ときでも笑顔を忘れないようにしてい
ます。落ち込んでいても、笑ってい
ら楽しくなるでしょ。ムスツとしてい
る人より、笑っている人の方が親しみ
やすい。だから笑顔って大事だなんて
思います。皆さんも、笑顔でおもてな
ししてください。



「笑顔」で起こす サプライズ

温泉、阿蘇、熊本城、いきなり団子、馬刺し、
さまざまな誇るものがある、ふるさと「熊本」。
3月12日に開通した九州新幹線に乗って、多
くの人が訪れています。そんな今だからこそ、
私たち一人ひとりが「熊本」を見つめ直し、良
さに気付いてほしいと、熊本を代表する2人に
話を聞いてきました。この記事は、県内市町村
の広報担当者が合同で企画・制作しました。



Kundo Koyama

小山薫堂

1964年6月23日 天草市生まれ。
放送作家として「料理の鉄人」や「THE 世界遺産」などを手掛ける。その一方で、映画脚本家としても、初脚本の「おくりびと」が米アカデミー賞外国語映画賞を獲得するなど高い評価を受けている

「くまもとサプライズ」の提案者・小山薫堂さんに「熊本の未来」には何が必要なのかを聞いてきました

く まもとサプライズは、新幹線開業で熊本に来た人たちを驚かせ

当たり前が幸せだと感じて欲しい

（サプライズ）企画ではなく、

熊本の人に「日常をリセットしてもらおう」ための企画です。この企画で、自分の中で、当たり前だと感じているものでも、県外から見れば、すごく特別で驚くような価値をもったものがあることを知ってもらおうのです。

僕は県外に出て、熊本の良さを実感しました。上京して体を洗ったり歯を磨いたりするときに水を使いますが、そのときに「やっぱり熊本の水はおいしいなあ」と感じるんです。熊本ではこのようなことを思ったことがありません。豊かな地下水を毎日気持ちはよく使うことができる熊本県民はなんて幸せな人たちなんだろうと思いました。それが「当たりの幸せ」です。

ながるのではないかと思っています。

僕は、生まれ変わるならシャンパンを作る人になりたいんです。

おめでたいときに、シャンパンで乾杯するようないきなりありますよね？

そんな小さな幸せを演出する人になりたいんです。例えば、天使みたいな、陰に隠れながら、いろんな人生にちよつといたずらをして、人と人を巡り合わせたい。そして幸せになった人たちをこっそり見るのがうれしいですね（笑）くまもとサプライズでも、僕の役割は、皆さんの背中をちよつと押してあげるだけだと思っています。それをきっかけに、熊本の魅力に気付いた人が動いて欲しいですね。

僕は幸せを運ぶ天使になりたい

そして、地域の人たちの熱き思いが、熊本を変えます。

しかし、全員が熱き思いを持つ必要はなく、それをみんなが応援していることが大切なのです。熊本の人には、変えようとしている人を見守り、そして応援する人になって欲しい。それが熊本の幸せであり、みんなの幸福につながると思っていますから。

「新幹線開通」をきっかけに「熊本の魅力を再発見」してほしいと賛同した県内の広報担当者が集まり、取材や写真撮影を行い、みんな言葉を選んで作り上げた合同企画です。私たちは、取材に一喜一憂しながら2人の思いを形にしました。それは、私たちにすべてが「サプライズ」でした。

2人が語ってくれた熊本の魅力とは、水や自然などの熊本に住む私たちにとって当たり前のものでした。しかし、それは日常生活の中に当たり前に浸透していて、その価値になかなか気付くことができません。

「当たり前が幸せ」と小山さん。「熊本の当たり前が他県の人から見ると、驚くこと」とスザンヌさん。

小山さんは「隣町にも、こんな良いところがあるんですよーって褒めあえたら熊本はもっと素晴らしい県になる」と話しました。熊本の良さを見つけたら、日本が新幹線でつながっていくように、自分のことだけでなく、互いに手をつなぐ。たった一人の思いや行動が連鎖し、そこに共感が生まれる…。今回の企画が、そんなきっかけになればと思います。

おもてなしには忘れてはならない笑顔添えて、熊本にサプライズを起こしましょう。